

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校



先日は、お忙しい中、参観日・作品展に起こしいただきありがとうございました。お子さんの一年一年の成長を感じていただけたのではと思います。子どもたちの学ぼうとする姿勢、なんでも一生懸命に頑張る姿勢、お友達に優しい姿勢、だれとでも仲良くし、面倒見の良い天見小学校の子どもたち。素敵なお友だちとかがかわれている我々は本当に幸せだと思います。

遊歩道に天見小学校の子どもたちが描いた絵を、地域の児童民生委員の方が中心になって、1枚1枚貼っていただきました。皆さん、学校に来られるときはお車で来られる方が多いと思うのですが、一度、電車で来たり、遊歩道を駅まで歩いてみてくださいませんか。

子どもたちの絵は、遊歩道をとっても明るくしてくれました。やっぱり子どもたちの絵というのは何とも言えない明るさと未来への希望を感じさせてくれます。

そこを通る人が立ち止まって絵を見てくださっている方も多いです。

「子どもたちの絵、上手に描いてはりますね。」そんなお声もいただきます。私は、絵を貼っていただいたことで、天見小学校での学びや生活がリアルに感じられる空間になったことがとてもうれしく思いました。この地に天見小学校があり、間違いなくここで67名の子どもたちが日々、学習し生活しているという感覚が、絵からも伝わってきたからです。

「遊歩道に絵を貼りたい。」とお話をくださったのは、地域の方からでした。市役所や南海電鉄さんや南海不動産さんをお願いしてフェンスに絵を貼ってもよいかと許可を取ってくださったのも地域の方です。一小学校のために地域の方がここまで動いていただけの学校はないと思います。本当に、天見小学校は、学校と、保護者と、地域で作られている学校だと実感します。そのことに感謝しかありません。

天見小学校を大切に思い、そして心から愛して下さっている方々へ、いつも本当にありがとうございます。



## 来年度の一年生、ようこそ!!!



2月14日(金)に、来年の一年生が体験入学にやってきました。私は、驚きのうれしさを感じずにはいられませんでした。それは現1年生の成長です。入学したての時とは全く違ってすぐくお兄さん、お姉さんになっていること、未就学生たちをうまくリードして遊ばせてあげているところ、みんなの前で挨拶を大きな声でしっかりと喋っているところなど、感動ポイントはたくさんあります。生活科の時間

に、的あて・カード釣り・玉入れなどの遊びを未就学生が楽しめるように、一生懸命作っていました。「校長先生もやって。」といつも声をかけてくれました。子どもたちの力というのは、無限大だなと思います。3つの遊びは、どれもとても面白かったです。ルールを守り、次の一年生もとても楽しそうに遊んでいました。来年度もほのぼのとした子どもたちの声が天見小学校に響くことでしょう。4月、新しい一年生が入学してくる日が楽しみです。

## 「考える」とは・・・

6年生の国語の教科書に「考える」とは・・・という単元があります。「どうすることが『考える』ということなのでしょう。」という問いかけに、国際連合事務局長の中満泉さん、ロボット学者の石黒浩さん、作家・演出家の鴻上尚史さんの「考える」とは・・・が載っています。中満さんは紛争地域で活動をし、大変な状況の中で何が正しいかを考え、良心と勇気を持ち続けようとした人の話が、石黒浩さんはロボット学者として「人の気持ちを考えるロボット」の研究に取り組んできたが、なかなかプログラムするのは難しい話を、そして作家・演出家の鴻上尚史さんは「考える」と「なやむ」ことを混同してはいけない、「なやむ」よりも建設的に「考え行動」に移して試みるのが大切という話を執筆されていました。

この3人の「考えるとは」を読み、自分の「考えるとは」を執筆した6年生の皆さんの文章があまりにも素敵だったので、紹介したいと思います。

紙面の都合上、全員の文を載せることができないのが残念ですが、読ませてもらった一人ひとりの子どもたちの「考える」というものがどういうものなのか、ダイジェストで紹介したいと思います。(まだ考え中の人もいます。)

- ☆「考える」ことは「より良い結果を出すための方法を見つけること」そして「たくさんの考えを合わせるとより良い結果になるもの」です。
- ☆「考える」とは「様々な情報や経験から、自分が正しいと思うことを見つけたり、思いやっで行動したりするときに必要なもの」です。また、「考えるだけでなくそれを行動に移すことで、たくさんの人が笑顔になれるのではないのでしょうか。」
- ☆「考える」とは、「無駄にはしてはいけない感情」です。AIに人間の道しるべを頼るべきではなく相談したときに、解決方法を一緒に考えてくれているのは人間。逆に相談してくれた時にかけてあげるべき言葉を考えるのも人間だと思うからです。
- ☆「考える」とは、「人を思いやることだ」と思います。「人を思いやる」ことは難しいが、立場を入れ替えて考えてみることで「人を思いやれる」のではないかと思います。
- ☆「考える」とは「楽しいこと」も「不安なこと」も、未来のことについて考えることだと思います。
- ☆「考える」とは、考えを伝え、みんなで進化していくことだと思います。進化とは、はじめは一つの考えを伝えあうことで、たくさんの考えの中から、よりよい考え方ができるようになることです。考えを相手に伝え、話し合い、考えを深めることが大切だと思います。
- ☆「考える」ことはみんなに喜んでもらうことです。
- ☆「考える」とは自分が一番いいと思う「回答」を見つけるための手段です。「世界には絶対の正解はなく、どの「回答」をし、その「回答」に従って行動しても、メリットだけでなく、デメリットも出てしまう問題がたくさんある」という内容の本を読んだことがあります。なので、「考える」ということをしてたくさんある「回答」の中からメリットだけでなく、多少のデメリットがあっても自分が一番いいと思えるような「回答」を「考える」ことで見つけ、それに従って行動していきたいです。

全員の文を読んで、確実に小学校6年間で、あなたたちは何かを学び、何かを得て卒業していくということが伝わってきました。みんなで考えることで「考え」が進化していくと答えた人もいました。AIにはできない寄り添える感情が「考える」ことだという人もいました。しっかり自分の考えたことの中から一番いい方法を選択して生きていくと覚悟を決めている人もいました。相手に伝えてより深めあうことが「考える」ことだという人もいました。この6年生の「考え」が、素晴らしく大人になっても、人生において必ずプラスになるであろうことがたくさん書かれてあったので、私はそれがとても嬉しかったです。あと少しで卒業。あなた方はたくさんの方を天見小学校で学んだのですね。それが無性にうれしく感じたのでした。